

いずみのひろば

2023年2月号
日本基督教団堺教会
NO.529 教会学校



礼拝は力のみなもと

ネヘミヤ記8章9～12節

とうとうエルサレム神殿が再建され、城壁も修復されました。その日、イスラエルの民は、みんなで神さまのことを礼拝するために、夜明け前から広場に集まってきました。人々は、祭司であるエズラさんが高い壇の上立って旧約聖書を朗読するのを聞きました。それは神さまがイスラエルのためにしてくださいました出来事です。神さまが、わたしたちの先祖がエジプトで奴隷として働かされ苦しんでいるのを見て、そこから救い出し、そして、シナイ山でモーセを通して十戒をくださったこと。しかし、わたしたちは、神さまの言うことを聞けず傲慢な振る舞いをしてしまったこと。神さまは、そんなわたしたちを見捨てることなく導かれ、とうとう約束された地に住まわせてくださったこと。だけど、またわたしたちは神さまの掟を守ろうとせず、神さまに背いてしまいましたこと……

礼拝に集まってきたイスラエルの人たちは、読み進められる聖書のお話を聞いていて、だんだん悲しくなってきました。わたしたちはこれままで神さまに対して何てことをしてしまったのだろう。何でちやんとできなかったのだろう。自分たちの弱さを感じて、あちこちで泣き声も上がりました。

しかし、朗読をしていたエズラさんは壇の上から民に向かって言いました。「今日は、あなたたちの神、主にささげられた聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない。」「主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」

神さまは、今もわたしたちを、この塚教会の礼拝へと招いてくださっています。わたしたちは、この一週間のあいだ、また神さまのことを忘れて、神さまに喜ばれないようなこともしてしまいました。「あー、お母さんの言うことを聞けなかったなあ」とか「お友達と仲良くできなかったなあ、自分勝手に優しくできなかったなあ」とか。本当なら、神さまにあらわせる顔もありません。

そんな罪にとらわれて神さまに立ち返ることができないわたしたちのために、神さまはこの世にイエスさまを送ってくださいました。わたしたちには、わたしたちの罪をとりなして、いつも祈ってくださいさるイエスさまがいます。だから、安心して、毎週教会にきて、みんなで神さまに礼拝を捧げましょう。そうしたらきっと、すばらしい一週間に始められる新しい力、元気がわいてきますよ。

(おはなし 大井康之)

